

その いずみの園だより vol. 64

2015.8.27

夏季号



それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。コリントの信徒への手紙113:13

社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団
中津総合ケアセンターいずみの園

基本理念

神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする
①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)

〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616 (代)
http://www.izuminosono.jp E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp



(玄関入口横のステンドグラス)



(上、下写真：天井に設置された明かり窓)

「事業所内保育施設マリアガーデン」のステンドグラス

「備えあれば 憂いなし」

「福祉の里センターサマリア館」が今春開所され、この書を横額にして寄贈させていただいた。書の意味は「平生からいざという場合に準備ができれば心配はいらない」と。この書が好きで何度も書いたが、私の想いは、聖書創生記22章に記される「主の山に備えあり」という意なのである。人の力では防ぎようがないとき「神は、信じる人を救われる」と聖書は示されている。

「心を尽して主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない」
箴言3・5

吉富町出身の横川知親師は40年程前にフィリピンに宣教師として幸子夫人と共に遣わされ、マニラで宣教を始めた。当時、マニラは治安が非常に悪く、日本からの送金は、途中で全て盗難されていた。何か月間住む家も食物も無く、貯えも果て餓死寸前の日々が続いた。何度も何度も神に祈った。

近くに住んでいるフィリピンの人たちが、不思議な日本人がいる。可愛そうだと食物を与えてくれた。やっと商社の人の手で届けられるようになった。助けてくださった方々に喜び与えられることができた。その助けてくださった方々が教会員となり役員となった。

10年目に立派な三階建の教会が建ち、2000人を超す人々で明るく、にぎやかな教会生活が始まった。でも40年間は平穏な日々はなく困難と恐れは毎日続き、会堂が焼けたり、横川師も倒れることが多く、過労と気候、風土に慣れない体質に悩まされた。膠原病を患い幸子師もガンの手術で10年程前沖縄で手術された。今年になって再発と診断され前の沖縄で手術となった。本人は明るく食欲も旺盛でこれがガン患者かと思った。ガンではなく、別の病気と判別されて元気に帰られた。移住して10年目にやっと生れた娘、息子も今は教会の良き働き人として、現地人として伝道に励んでいる。希望をもって喜び、苦難を耐え忍んだ彼等に祝福があるように。



社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団

理事
木村武夫

2015年度の第1回理事会・評議員会が開かれました。

2015年度の第1回評議員会が5月27日(水)10時30分から、本年4月新築なった「福祉の里センター サマリア館」の2階会議室で行われました。

開催に当たり、理事長から「当法人は、保育事業から高齢者事業、障がいサービス事業と対象を広げ、本年4月に数年かけて準備してきた共生型のサマリア館が、中津における当法人発足の地である旧グレース保育園のあとに完成した。投資等財務状況も一段落したが、当園新5か年プランの後半についても着実に推進してまいりたい」との挨拶がありました。

続いて審議事項につき評議・審議いただき、2014年度の事業報告、監事からの監査報告を受けての2014年度決算案件につき全会一致で承認されました。また、いずみの園職員表彰規程新設についての承認、報告事項として①デイサービスかきざの跡地構想 ②介護予防・日常生活支援総合事業の開始 がなされました。

なお、昼食時を利用して、評議員の皆さんに「サマリア館」の事業について見学をお願いしました。

引き続き、13時30分からは、2015年度第1回理事会として、事務局からの議案についての説明後、監事の評価や各理事の意見のち全員一致での賛成および報告事項の了承を得、14時30分散会しました。



理事会の様子

2015年度第2回理事会・評議員会が開催されました。

8月11日(火)、標記会議が開催され、審議議題として、①定款の変更(公益事業の実施) ②新理事1名の選任、新評議員3名の同意案件 ③任期切れに伴う理事・監事・評議員の改選が諮られ、異議なく承認されました。そのあと理事会で理事長の選任が行われ、富永現理事長が全会一致で再任されました。

また、報告事項として ①「第5回法人内研修会」の開催 ②いずみの園における「処遇改善加算」の取り扱い ③聖愛ホーム20周年記念事業 ④いずみの園紹介DVDの作成 など各担当部長より説明があり、了承されました。

(法人本部署務局)

新体制
 理事長 富永 健司
 理事 (9名)
 再任 木村 武夫 書道教室 主宰
 再任 齊藤 昭夫 (社福九州キリスト教社会福祉事業団理事長)
 新任 坂田 弘光 (社福) 佐賀キリスト教事業団理事長
 再任 島田 晋 NPO環境保全技術研究所理事長
 再任 滝口 真 めぐみ保育園園長
 再任 多田 玲子 西九州大学教授
 再任 富永 健司 日本キリスト教保育所同盟副理事長
 再任 橋本 高幸 大分県社会福祉センターいずみの園施設長
 再任 廣安慎太郎 中津教会牧師
 再任 山口 貞嘉 学校法人福岡女学院監事
 再任 金枝 豊治 学校法人福岡女子学院理事
 再任 池上 信也 学校法人弥生幼稚園理事

監事 (2名)
 (任期：2015年9月5日～2017年9月5日)
 再任 山口 貞嘉 学校法人弥生幼稚園理事
 再任 金枝 豊治 学校法人福岡女子学院理事

評議員 (19名)
 (任期：2015年8月18日～2017年8月17日)
 再任 池上 信也 厚川教会牧師
 再任 大継 徹朗 厚川のぞみ保育園園長
 再任 清源万里子 弁護士法人清源法律事務所弁護士
 再任 出納 皓雄 社会福祉法人清浄園理事長
 再任 田邊 久伍 豊陽中学校評議員
 再任 谷 直美 いずみの園オゾンズマン委員
 再任 堤 健生 いずみの園チャプレン
 再任 福成 清子 有隣会社商美専科フクナリ社長
 再任 松本 新子 いずみの園オゾンズマン委員
 再任 森分 直樹 学校法人長崎キリスト教友愛学園理事長
 再任 別府教会牧師

(任期：2015年8月18日～2017年8月17日)

理事長(再任) 挨拶



現在、社会福祉法の改正案が衆議院を通過し参議院に送られて社会福祉法人の在り方が議論されています。社会福祉法人の原点である公益性、公共性、先駆性が求められ、経営の透明化、組織経営のガバナンスの強化、社会貢献の責務化が明らかになります。いずみの園は「新5か年プラン」(2012～2016年度)をさらに推進し、地域包括ケアシステムの先駆的モデルとしての役割を果たし、この4月には地域公益課を新設して社会貢献事業を地域で展開していきます。

新任理事紹介



8月11日より、社会福祉法人佐賀キリスト教事業団理事長坂田弘光氏が理事に選任されました。なお、坂田理事は評議員も兼ねられます。

人事異動

2015年4月8日以降

① 異動一般職

4月17日付 山田 浩美 ふれあい館 介護員
 8月1日付 末吉亜紀子 ベテルハウス 介護員
 吉川 恵子 ふれんど館 生活相談員兼介護員

6月10日付 内納 嘉子 訪問介護課 ヘルパー
 出口 貴子 介護課 介護員
 7月1日付 内田 葵 訪問看護課 看護師
 7月6日付 佐藤 順子 児童サービス課 児童指導員
 7月13日付 自見 康子 児童サービス課 児童指導員
 植村 美春 訪問介護課 ヘルパー

(以上2015年8月1日まで)

② 新採用

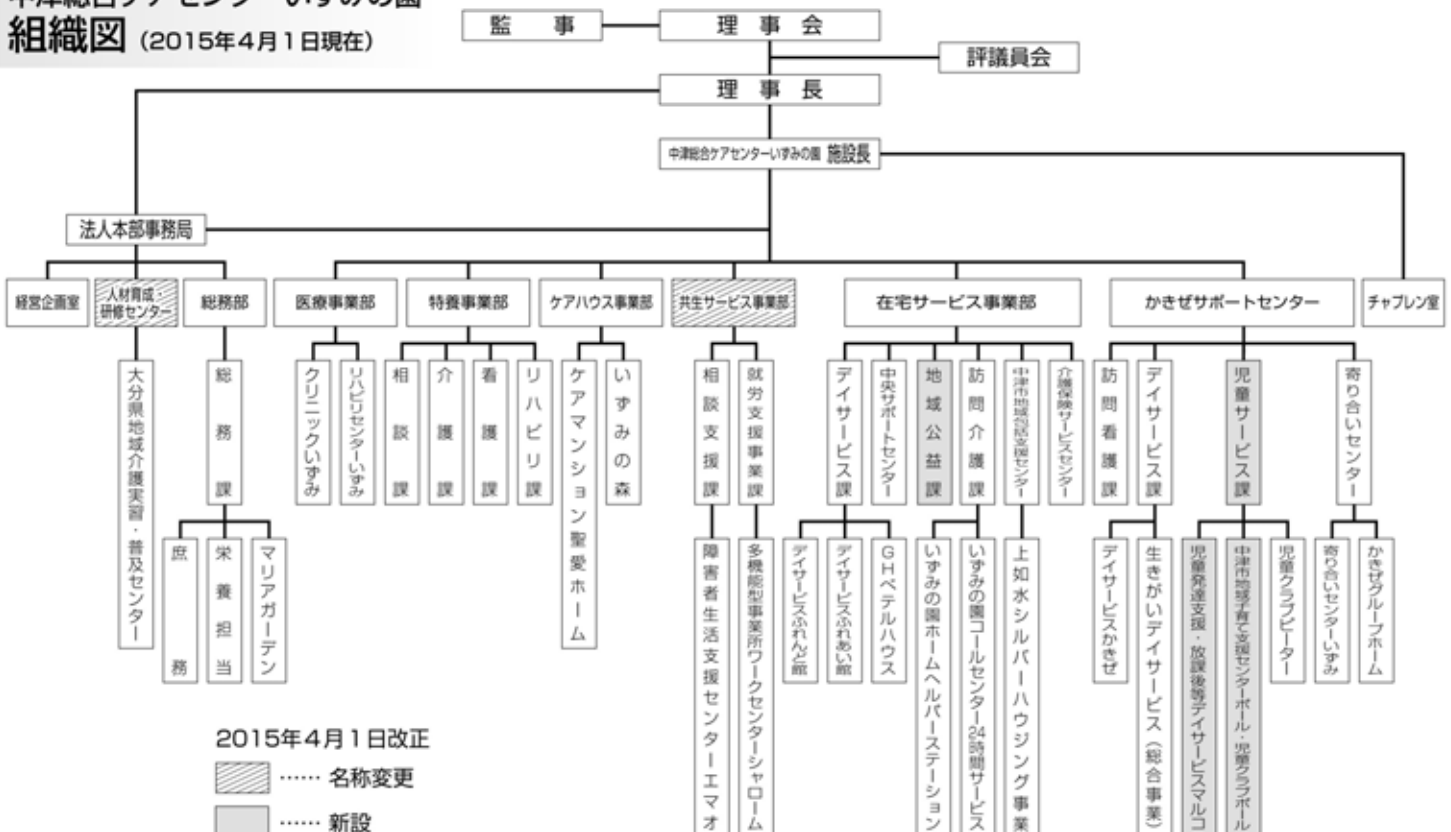
5月14日付 富永 実華 寄り合いセンターいずみ 介護員
 6月1日付 島田美智子 介護課 介護員
 梶原 弘美 介護課 介護員



2015年度各課事業計画 (主な事項のみ)

経営企画室	①「新5か年プランの執行状況把握」 ②事業企画 (人材確保関連3班のとりまとめ)	共生サービス事業部	
人材育成・研修センター	①初任者研修・実務者研修の諸活動 ②ボランティア等組織化活動 (経営室共同事業)	相談支援課	①障がい児・者相談支援の質の向上 ②普及啓発の促進
総務部		就労支援事業課	①就労継続支援A型新種目の開発 ②B型の出勤率向上
総務課	①効率的な事務推進 ②職場環境・雇用の確保の強化	在宅サービス事業部	
栄養担当	①栄養ケア・マネジメントの実施 ②利用者ニーズ・新メニューの研究	デイサービス課	①利用の安定と稼働の維持 ②生活不活発の原因把握
マリアガーデン	①保育の充実 ②園児の増	中央サポートセンター	①稼働率の安定 ②サービスの向上
チャプレン室	①創立の精神の深化 ②メンタルヘルスの充実	ベテルハウス	①楽しみのある生活支援 ②家族交流会の実施
医療事業部		訪問介護課	①人材育成 ②実績の確保・広報活動
クリニックいずみ	①診療機能・医療情報の充実 ②リスク管理	地域包括支援センター	①介護予防マネジメントの確立 ②認知症支援の強化
リハビリセンターいずみ	①社会参加継続支援 (目標指向型リハ) の強化 ②事業活動分析	シルバーハウジング	安否確認・緊急時の対応
特養事業部 (本館・ヨハネ館同様)		介護保険センター	①地域包括ケアシステムの推進 ②医療機関との更なる連携強化
相談課	①利用者数の安定 (入院等の減少) ②社会参加に焦点を当てた支援	地域公益課 (7月～)	①生活困窮者等対策 ②地域公益事業の検討
介護課	①人材確保・育成 ②働きやすい職場づくり・年休取得の促進	かきぜサポートセンター	
看護課	①看取りケアの実践・充実 ②人材育成	デイサービス課	①利用者の確保・経営の安定 ②多世代間の交流
リハビリ課	入院ゼロ (介護事故・誤嚥性肺炎・褥瘡の防止)	児童サービス課	①共生型空間を活かした児童健全育成 ②地域と共に子育てサポート
ケアハウス事業部		寄合センター	①多職種協働によるケアプランの整備 ②稼働率の維持と適正利益の確保
ケアマンション聖愛ホーム	①生活支援体制の構築 ②地域交流・楽しみのある生活支援	訪問看護課	①利用者を選んで頂けるサービスの質の向上 ②人材の育成
いずみの森	①空き棟対策の促進 ②入居者満足度の向上		

中津総合ケアセンターいずみの園 組織図 (2015年4月1日現在)



ひろば いずみの園広場

ご利用者の声



寄り合いセンターご利用者

大江 廣子様

私は身体を壊し、自立が困難になり、主人の援助が必要となった時、主人が万一身体を悪くすることがあったらどうしようと思いましたが。娘二人は遠方に嫁いでいますし、そんな時、自宅の直ぐ前の「寄り合いセンターいずみ」のお話を聞きました。1年365日、24時間体制で対応して下さることので、ホッとしてお世話になるようにしました。

最初は週2回、今は週3回お世話になっていきます。何よりも家から近いのが幸運で、車を使わず車椅子のまま送迎して頂けますし、入浴も心配なく済ませ、昼食は毎食おいしく皆と楽しく頂いています。家では主人と二人きりの会話ですが「寄り合いセンター」では職員さんと様々な話題に教えられることも多いです。私も「寄り合いセンター」に行くことで気分転換出来ますが、主人も家事一切をしながら私の留守の間にテニス等をして楽しんで見つけています。

「寄り合いセンター」で課長さんを始め、職員さん方を見ているとまったく身体の動かない方にもやさしく接しておられて、皆さん丁寧に対応なさっているのを見て私もずーっとここでお世話になろうと思えました。いざという時にも安心だと思えて私も今は主人と出来る楽しみを見つけて花見や食事会等出かけています。時々主人に叱られながら！



ご主人とご一緒に

ご利用者ご家族の声



リハビリセンターいずみ

横光強様のご家族 横光 陽子様

夫も私も「いずみの園」でヘルパー講習を受講し、介護の勉強会、秋の「いずみの園フェスタ」にも参加したりと、身近に福祉を学べ、中津市民の福祉を高める場と考えていました。自分が当事者になるなんて・・・
夫は9年前脳出血、昨年夏には大腸癌と続いたことで、徐々に身体能力が低下してきました。

そんな時、尊敬するご夫婦（夫を介助）の散歩姿を見て、日々歩きがすっかりしているのを相談すると、「いずみの園」がリハビリに力を入れていたので知りました。

早速、介護認定を受けると要介護1と聞きショックを受けたのは私でした。気を持ち直し、福祉のプロの皆様の力を借りようと思いましたが、幸いなことに「リハビリセンターいずみ」のスタッフの方々と先生と暮い、楽しく通うことが出来ています。「今日は10のメニューをやった」「僕より不自由な人が頑張っているの、自分も頑張る。」「お昼が美味しい。」「みんなが優しい。」「マンネリ化していた生活にリズムが出来喜んでいきます。」

私はヘルパーをしていて自分の夫を、放任と負い目を感じていると、「全部しよい込むと共倒れしますよ。今迄通り奥さんは仕事をしてお主人のことは私共にまかせてください。」と言われ、気持ちをお楽にすることが出来ました。私が在宅ヘルパーをしていた以上のこと、若いスタッフの皆様がやって下さっていることに頭が下がります。ありがとうございます。



ご自宅にてご主人と

児童サービス課

「児童サービス課」は、「いずみの園かきせサポーターセンター内」に本年4月に新設された「福祉の里センターサマリア館」の新しい課です。

「児童サービス課」では4つの事業を行っています。「中津地域子育て支援センターホール」は、子育て親子の支援として子育て親子が集える場所の提供や行事、相談を行っています。

「児童クラブピーター」と「児童クラブポール」では、働く保護者に代わり小学生の放課後と長期休暇中の安心・安全と育成支援を行っています。



児童クラブホールでの様子

「福祉の里センターサマリア館」の特徴である高齢者、障がい者・児、子育て親子、児童、地域の方々が集い活動する環境を活かし、子どもたちの思いやりや協調性、社会性を育てていきたいと取り組んでいます。



スタッフ

ニルコニルコス いずみの森

「シニアレジデンスいずみの森」は、2006年2月に池を挟んで「いずみの園」の対岸の自然豊かな場所に建てられた有料老人ホームです。

全国的にも珍しい全8棟全て一戸建てで、プライベートが確保された有料老人ホームです。

私たち職員は、ご入居者に対しホスピタリティの向上を図るべく、環境面や生活面、安全・健康にいたるまで、ご入居者のお気持ちを図りながら、ご本人の意に沿えるようなサービス作りが出来るように、ホテルのコンシェルジュの様な役割を果たすように努めています。

今年は、施設の環境美化に努めていて、周りに花を植え、また、皆様の健康増進のために健康機器の整備を推し進めています。サービス業は、相手に対し心を込め、やさしさを持ち、喜びを持って働く事だと思います。我々職員は、人の痛みがわかる人でありたいと思います。



行事（バーベキュー）の様子

どうかお近くにお寄りの節は、自然豊かな「いずみの森」にお立ち寄りください。

お問い合わせは

TEL: 0979-3317070

職場紹介シリーズは今回にて終了します。



パウロ館（管理棟）前でのスタッフ

キリスト教と中津 ②

「切支丹灯笼」

「切支丹灯笼」と言えば「織部灯笼」が有名ですが、中津市にはこの「織部灯笼」が3基現存しています。

「織部灯笼」とは織部流茶法の祖である古田織部が考案したと言われており、茶庭に飾る石灯笼に隠れキリシタンの印を隠したものです。

古田織部と千利休は茶道の友人、千利休と細川忠興は茶道の師弟関係にあり、中津に残っている織部灯笼は千利休が形見として中津城主の細川忠興に贈ったものと言われています。

関が原の戦いに際し石田三成に攻められ壮烈な最期をとげた正室の細川ガラシャの供養のため、忠興が城内二の丸に「長福寺」を建立し、織部灯笼が奉納されたと言われています。

「いずみの園」では、織部灯笼ではないですが、切支丹灯笼と伝えられている灯笼があります。市内の有志の方より寄贈いただき、「寄り合いセンターいずみ」のリビング前の庭に設置しています。

(経営企画室)



いずみの園の切支丹灯笼

『いずみの園コールセンター24時間サービス』 (定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業)が3年経過しました



ヘルパー訪問時の様子

改正に伴い、新しいパンフレットを作成しました。こうした普及活動の結果、2015年4月、開所当時目標とした利用者数50名を達成しました。今後とも「24時間サービス」事業の周知・普及に努めてまいります。

本事業は、要介護高齢者の在宅生活を支えるため、市町村が実施する地域密着型事業として創設され、当園では2012年5月より事業を開始しました。日中・夜間を通じて、24時間、訪問介護と訪問看護を一体的にまたはそれぞれが密接に連携しながら、定期的に巡回訪問と随時の訪問を行います。1日短時間、複数回の訪問を行うことで、食事や体調管理、服薬確認を行い、必要に応じた看護師との連携により、ご本人希望の在宅生活の継続、遠く離れた家族には、何かあれば連絡が届く安心・安全の提供になっていきます。

また、この事業は国が強く推奨する地域包括ケアシステムの中核事業の一つといわれる事業ですが、24時間対応の利便性とは逆に、サービス内容の理解不足やサービス提供側が人材確保に苦慮することもあります。

昨年度、私たちは民生委員役員会・老人クラブ・隣接の市町村のケアマネジャーや医療機関等広くサービスの普及啓発活動を行い、今年度は介護報酬



コール対応の様子



在宅サービス事業部長
市川 朋克

中津市須藤副市長がご利用者宅を訪問し、いずみの園へも来園されました



ご利用者宅訪問の様子

在宅医療との連携等現状について、ご利用者に近い立場からの意見が述べられました。

副市長は、「地方創生で市町村の独自の取組が大切であることから、現場の声を大切に要望や意見を参考に考えたい」といわれていました。副市長の配慮により最後まで穏やかな雰囲気での終了することができました。

7月1日定期巡回サービスのご利用者宅に、中津市須藤副市長と介護長寿課課長・班長の3名が訪問し、在宅生活での困りごとや行政サービスへの要望等を聞かれました。

訪問したA様は92歳と96歳のご夫婦で、共に支え合っています。「出来ない所だけを手伝って欲しい」とおっしゃる様子に、副市長も感心されていました。

また、B様は一人暮らしで、視覚障がいや多くの疾病を抱えており、様々な在宅サービスを組み合わせ、在宅生活が送れていることに驚かされていました。

さらに、7月7日にも須藤副市長が「いずみの園」ヘルプステーションへ来園され、意見交換を行いました。

副市長より「ヘルパー業務の制度の制約で、ご利用者が困っている事の改善点や要望等を聞きたい」と挨拶され、訪問介護課から、今後の自立支援の取組や研修についての要望、現在の入浴支援や、配食サービスの整備、



意見交換の様子



訪問介護課 課長
山本 さつき



岩水先生

今後とも地域の皆様の施設としてお役に立てるよう責任を果たして行きたいと思っております。

岩水先生には、去る7月9日に、「口腔ケアと誤嚥性肺炎」と題し、私達のスキルアップのために研修して下さいました。

「摂食サポートプロジェクト」の活動について

食へることは、私たちの最期まで残る楽しみであり、誰も健康でいたいと願っています。

しかし、障害や認知症、他にも加齢に伴い食へることが難しくなることがあります。

こういったことから私たちは「疾病（肺炎等）の予防」と口から食へ続けることを目的に5年前より入所されている方々に対し取組を進めてきました。

具体的には普通に食事ができ、誤嚥（*誤って食べ物気管にはいること）による肺炎予防に努め、成果も見られています。

今後、介護保険改訂により特別養護老人ホームの入所対象者が要介護3以上となったことや、当施設で看取りを希望される方も増え、更に重度化に伴い食事問題も深刻化してくると予測されます。

「いずみの園」では歯科衛生士を配置し、併設の診療所「クリニックいずみ（呼吸器科）」の鬼塚先生並びに協力医である「いわみず歯科クリニック」の岩水先生にも毎週往診にて歯科治療、助言等頂き研究を深めています。



岩水先生による研修会の様子



特養事業部リハビリ課 歯科衛生士 東 久美

園内の花木を探索

「いずみの園」の敷地内にはたくさんの花木が植樹されています。この花木をシリーズで紹介いたします。

●ヤマボウシ (山法師)

ヤマボウシはミズキ科ミズキ属の落葉高木です。「いずみの園」では、「特養ヨハネ館」の周りに数本植樹されています。

5月～6月頃に先端の尖った真っ白い花びらを4枚もつ花を、枝いっぱいに咲かせます。

ヤマボウシの名前の由来は、中央の丸い花穂と4枚の白い花びらを、頭巾をかぶった法師に見立てて名付けられたそうです。

夏の終わりから秋にかけて赤い実が付き、そのまま食べられたり、果実酒にされることもあるようです。ヤマボウシの花言葉は「友情」です。



チャブレン通信



堤 健生

「なぜ、生きておられる方を死者の中に探すのか。あの方はここにはおられない。復活なさったのだ」
新約聖書ルカ福音書

お盆の頃はお里帰りの人で普段より町がにぎわいます。小さな子づれの家族からはおさな子の声が聞こえます。

この様な時、亡くなった父母やおじいちゃんおばあちゃんさんが家に帰ってきている様な気がします。「牧師さんもそんなこと思うのですか」と言われると、「私は日本教徒キリスト派ですから」と煙にまきます。いろいろな人と出会いが与えられてつながっていることを大切にしたいと思います。

中津支援学校からワークセンターシャロームに 実習生が来られました!

共生サービス事業部

就労支援事業課 主任 榎澤亜衣子

6月4日から、毎週木曜(計4回)、中津支援学校3年生女子生徒が「チャレンジDAY」と名付けられた実習のため、「ワークセンターシャローム(就労継続支援A型)」に来られました。

中津支援学校では、年2回行っていた現場実習の「回数や期間」を拡大し、「座学と実習」を並行して実施する「中津版デュアルシステム」を今年度より新たに開始しています。

実習を終えた女子生徒は「シャローム」のA型・特別養護老人ホームのメンテナンス作業を通じて、働く体験と共に実際に就労している先輩方から助言を受けながら作業に取り組み、「大変だったが、仕事に自信をもつ事が出来た」と話していました。

慣れない環境での実習、本当にお疲れ様でした。

実習風景①



実習風景②



2015年度の「ジュニアワークキャンプ」が行われました。

7月31日(金)と8月1日(土)の1泊2日の日程で「ジュニアワークキャンプ」が行われました。今年は、小学校3年生から高校2年生の19名の参加でした。

ご利用者とのふれあい体験・食事の介助・車イス操作など色々なことを体験しました。将来福祉に興味を持って羽ばたいてもらえたらとの思いを強くしました。

また、昔の物作り体験では、中津市内鶴居校区の竹工芸クラブのボランティアさんの協力を頂き、竹工芸に挑戦しました。皆さん手に汗しながらみごとな作品を作りました。その時の顔がとても印象的でした。

全ての行程(食事作り・レクリエーション等)を無事に終了することが出来、皆さんがまた来年も参加したいと帰って行きました。ボランティアをして頂いた皆様、ジュニアワークキャンプに参加してくれた皆様、ありがとうございました。(人材育成・研修センター)

竹工芸の様子



ご利用者とのふれあい体験



かくたん 喀痰吸引等研修 受講生募集中!

この研修は、介護職員が喀痰吸引等を行うための研修です。

実施期間：10月1日(木)～12月17日(木)
募集定員：30名
研修会場：中津市永添 いずみの園内「地域交流ホームいずみ館」
受講費用：64,160円(テキスト代・保険料を含む)
※この講座はキャリア形成促進助成金が活用できます。

お申込み
お問い合わせは

人材育成・研修センター
0979-23-1616

担当 岩崎・安藤まで

編/集/後/記

今年も土用の夏がやってきた。海の日7月20日から8月7日まで、この間に大暑があり、夏のうちで最も暑い期間といわれています。土用は夏だけでなく、四季にそれぞれあり、立春、立夏、立秋、立冬の前の18日間を土用というそうです。

土用の丑の日にはうなぎを食べる習わしは諸説あるが、江戸時代の発明家「平賀源内」が広めたという説が有名だ。ある時源内が流行っていないうなぎ屋から「うなぎは夏にうなぎが売れるか」と相談を受け、「丑の日にはうなぎを食べよ」とキッチンペーパーを、それでお店が流行り、他のうなぎ屋も便乗したことから、広まったのだ。今ではうなぎは高級品となったが、暑さに負けず、今年の夏を乗り切りたい。(末)



都留・久保・大島・末延・筒井・長岡・山中・日高(広報委員会全メンバー)

大分県福祉保健部長が、「いずみの園」に来園されました



本部玄関前にて
(左から県参事、県部長、当法人理事長)

6月17日(水)、大分県福祉保健部長 草野部長が「中津総合ケアセンターいずみの園」に来園されました。
まず、市内蛸瀬地区にある「かきせサポートセンター」に本年4月に開設した「福祉の里センター サマリア館」において、法人の沿革、現在の介護保険事業や障がい事業の取組、並びに「いずみの園」としての課題について説明しました。



見学風景

その後、「いずみの園」本部へ移動し、特養、リハビリセンター、クリニックや事業所内保育施設を見学いただいたのち、「24時間訪問サービス」のコールセンターで模擬操作を行っての説明や、今後の普及についての課題などの意見交換を行いました。
遠路お忙しいところご来園ありがとうございました。
(法人本部事務局)

大分県議会議員の本園視察がありました



見学風景

大分県議会の県内所管事務調査として、古手川正治委員長をはじめとする福祉保健生活環境委員会の6議員(河野成司副委員長、荒金信生議員、井上明夫議員、平岩純子議員、三浦正臣議員)と地元選出議員(大友栄一議員)が、6月11日視察のため「福祉の里センター サマリア館」に来園されました。
大分県議会では県内の所管部署や事業所を、今後の県政に反映するために視察訪問を行っているそうです。



意見交換の様子

当園では「サマリア館」にて、事業説明、意見交換を行った後、「子育て支援センターボール」や「児童発達支援・放課後等デイサービスマルコ」を見学されました。
こうした機会に県議の方に業務の実際を見ていただき県政に声が届くことは意義深く、遠路お越しいただいたことに感謝申し上げます。
(かきせサポートセンター)

上ノ原地区 合同慰霊盆踊り



8月16日に毎年恒例の上ノ原地区との合同慰霊盆踊りが行われました。
ハッピー姿の入所者、浴衣姿の職員や地区の方々が輪を作り、中津音頭や炭釜節などおなじみの曲を太鼓の音に合わせて踊られていました。

最後には花火とお楽しみ抽選会があり、子どもたちも入所者の方たちも楽しまれました。
上ノ原地区の方々との協同のもと今年も合同慰霊盆踊りを開催することができました。これからも毎年一緒にできるこの行事を大切にしていきたいと思えます。
(広報委員会)



中津市議会議員による「福祉の里センター サマリア館」への視察がありました



意見交換の様子

中津市議会の事務調査として、大塚正俊委員長をはじめとする厚生委員会の全議員(高野良信副委員長、古江信一市議/市議会議長、奥山裕子市議、山影智一市議、小住利子市議)が、6月19日に視察のため「福祉の里センター サマリア館」に来園されました。
中津市における子育て支援や障がい者・児支援について事業の様子を見学されました。「サマリア館」の



「福祉の里センター サマリア館」玄関前にて

事業のねらいである①多世代交流 ②共生社会の実現③次世代への文化伝承について見学をしながら意見交換を行いました。
市議会議員の方と業務や地域福祉について共にお話をさせて頂く場を設けていただき、地域の方と協力して共に住みよい中津市となるよう事業を行ってまいります。
(かきせサポートセンター)

予告

第17回 いずみの園フェスタ

日時 10月24日(土) 午前10時～午後2時

会場 いずみの園 中津市永添2744

イベント盛り沢山

- 屋台コーナー ●バザーコーナー
- わんぱくコーナー ●健康・介護保険コーナー
- もちつきコーナー ●顔写真入りカレンダー作成
- 小笠原古流茶会(茶席体験)

ステージ

- 大正琴 琴好会 ●大分県糸口学園 糸口太鼓 ●ベリーダンス
- 中津市民吹奏楽団 ●よさこい踊り 大分舞華軍団おかみさんクラブ
- 琉球國祭り太鼓(大分支部) ●オカリナ同好会トトロ

※イベント・ステージは変更になる場合があります。 協賛/中津ライオンズクラブ

